

支店だより

News from branch offices



紀の里の各地域では、季節ごとに地域性を活かした、当地ならではの催し物が開かれています。今月も、各地からの話題をお伝えします。



「柿のトップセールス」開催

JA紀の里は9月25日、東京青果(株)の果実売り場で「たねなし柿のトップセールス」開催しました。

紀の川市岸本市長をはじめ、柿部会の今西部会長と赤坂副部長、青柳副部長、同JAから玉置友博専務理事と紀の里地域本部の中山本部長が出席し、管内で出荷最盛期を迎える柿のセレモニーを行いました。

岸本市長が挨拶の言葉を述べ、来場の市場



関係者には旬の極早生柿「中谷早生」を手渡してPRしました。



粉河支店

小学生の稲刈り体験!!

9月9日に粉河小学校の5年生48人が、管内の組合員さんの田んぼで稲刈り体験を行いました。

最初に営農指導員より、実った稲穂の粒数などについて説明しました。

児童のみなさんが収穫したのは6月に田植えした「にじのきらめき」で、鎌の使い方を聞いたあと、稲を刈り取り、ひもで結んで天日干し用の棒に掛けるはぜかけをしました。

収穫した米は宿泊体験学習の際、飯ごうで炊いてカレーライスを作る予定です。



那賀支店

地域みんなで交通安全

那賀支店管内の名手上の将来を考える会は、全国秋の交通安全運動期間に合わせて「自然豊かなまち ゆっくり走ろう」のメッセージと中央に「国道480号」と表示した交通安全啓発ステッカーを作成し、町内会の全戸へ配布した。ステッカーには地域の自然と農産物の豊かさを柿・ハ朔・キウイフルーツのイラストで、環境にやさしい農業を取り入れていることをヤギのイラストで表しています。地域の生活道路である国道480号線は交通量が多くなり名手上地区は危険が増している。副会長の谷本好正さんは、「ドライバーの皆様にも少しでも交通事故に気を付け交通ルールを守り、地域住民全員で交通事故ゼロを目指したい。」と話しました。



桃山
支店

町探検で小学生が 桃山支店を訪問

9月24日、安楽川小学校2年生の児童6名が町探検で来店してくれました。

「どうしてJAという名前なの?」「どんな仕事をしているの?」等の多くの質問があり、その回答を熱心に書きまとめていました。



打田
支店

お米の検査

打田支店では10月上旬に数回にわたり、お米の検査を行いました。

米不足が続く中ではありますが、今年は例年よりも多く収穫できたという声も多数ありました。

また、これから寒い日が続きますがお身体にお気をつけください。



岩出
支店

令和7年産米の検査実施

10月2日、岩出集出荷場では令和7年産米の検査を行いました。

今季3回目の検査日では、約6,000袋を検査員が品質検査を行いました。今回は中生種の「きぬむすめ」が中心で、今年も酷暑の影響で昨年と比べて高温障害が多くなったとの声を聞きました。10月下旬まで出荷と検査が続き、岩出管内では合計8,600袋の出荷を見込んでいます。「おいしい」と評判の岩出産新米を是非ご賞味ください。



貴志川
支店

丸栖小学校野菜探検隊2

丸栖小学校2年生の児童18名の野菜探検隊は、貴志川町で野菜を栽培している中川幸宣さんの圃場に行きました。

2回目となる今回は秋冬野菜について学び、「何種類の野菜が植えられていますか?」「白菜とキャベツはどちらが葉っぱの枚数が多いですか?」「美味しいキャベツの見分け方を教えてください」など、前回よりさらに深掘りした質問があり、熱心にメモを取っていました。その後、ジャガイモを植えました。野菜探検隊は、「中川さんの畑にもう一度行きたい!」「前回より野菜が好きになった!」「ピーマンが嫌いだったけど、中川さんの畑のピーマンを食べて好きになった!」と喜んで、次の開催を楽しみにしていました。

2025.11

最新の農作業情報は
ホームページからご覧になれます

【組合員様専用ページを見るには】

インターネットで以下のアドレスを入力

<https://members.ja-kinosato.or.jp/>

または

JAわかやまホームページ▶組合員様専用ページ

右図と同じユーザー名とパスワードを入力して
ログインしてください。

組合員様専用ページ

aguri

kinosato11

ログイン情報も記憶

ログイン

野菜

玉葱

●定植前に灰色腐敗病の病害対策を行
いましょう。

①を参考に防除を行いましょ。

●除草剤

定植後（雑草発生前）の土壌が湿ってい
るとき、または湿らせてから、除草剤を全
面土壌散布してください。【表1②参考】

●追肥

12月上旬に燐加安44号 10a当たり40
kgを追肥として施用してください。定植
が遅れている場合は、肥料を切らさない
ようにしてください。

表1. ①玉葱 病害虫対策

対象病害虫	薬剤名	倍 数	収穫前日数/回数
灰色腐敗病	シグナムWDG	500倍	定植直前/5分間苗根部浸漬
ハモグリバエ類	マラソン乳剤	1000倍	7日/6回
べと病	ピシロップフロアブル	1000倍	前日/3回
べと病、白色えき病	ジマンダイセン水和剤	500倍	3日/5回

表1. ②玉葱除草剤

薬剤名	10a当たり使用量		収穫前日数/回数
	薬 量	希釈水量	
クレマトU粒剤	6kg		収穫60日前まで/1回
ゴーゴーサン乳剤	400ml	100ℓ	収穫30日前まで/1回
フィールドスターP乳剤	100ml	100ℓ	定植後30日まで/1回

表2. いちご病害虫防除薬剤

病害虫名	薬剤名	倍 数	収穫前日数/回数	備 考
うどんこ病	パレード20フロアブル	2000~4000	前日/3回	
	ショウチノスケフロアブル	2000	前日/2回	
	シグナムWDG	1500	前日/2回	
	スコア顆粒水和剤	2000	前日/3回	
	トリフミン水和剤	3000	前日/5回	
ハダニ類	グレーシア乳剤	2000	前日/2回	ミヅバ 1日
	ダニオーテフロアブル	2000	前日/2回	ミヅバ 1日
	マイトコーネフロアブル	1000	前日/2回	ミヅバ 1日
	コロマイト水和剤	2000	前日/2回	ミヅバ 3日
	モベントフロアブル	2000	前日/3回	ミヅバ 1日
	サフオイル乳剤	300~500	1/ー	ミヅバ 1日
アブラムシ類	ムシラップ	500	1/ー	ミヅバ 1日
	ウララDF	2000	前日/2回	ミヅバ 1日
	チェス顆粒水和剤	5000	前日/3回	ミヅバ 1日
アザミウマ類	モスピラン顆粒水溶剤	2000	前日/2回	ミヅバ 1日
	ディアナSC	2500	前日/2回	ミヅバ 3日
	モベントフロアブル	2000	前日/3回	ミヅバ 1日
	グレーシア乳剤	2000	前日/2回	ミヅバ 1日

いちご

●病害虫防除

ハウスの被覆により、うどんこ病の多発
が予想されます。表2を参考に防除を
行ってください。薬剤散布はハウスの閉め込みまでに乾
くように気をつけてください。

●追肥

樹勢に応じて頂果の着色始めの時期
から、10a当たり窒素成分0.5kgを追肥と
して施用してください。（窒素15%のOK
F-1の場合は10a当たり3.5kg）

いちご豆

●摘芯

主枝の葉が6〜8枚の時に、5〜6節
を残して摘芯を行ってください。

●追肥

11月中旬に紀の里化成403を10a当たり
40kg株周りに施用しましょう。

●防除

アブラムシ・アザミウマ類の防除として、
モスピラン顆粒水溶剤を400倍（7日/3
回）で散布してください。

ウスイエンドウ

過湿に弱いため高畝に成形し、特に播
種位置（株元）が周囲より低くならない
ような畝つくりをしましょう。一発肥を施用したマルチ栽培の場合は、土
が適湿な状態でマルチを被覆しましょう。

●播種

播種については11月中下旬を目安に
行ってください。種子量は10a当たり約2
ℓ必要です。畝幅は140〜150cm、株間は15
〜20cmの1粒播き（又は35〜40cm 1穴2
〜3粒播き）としてください。

●除草剤

播種後に、10a当たりトレファノサイド
乳剤300mlを水100ℓに溶かし土壌表面に
散布してください。（露地栽培のみ）

白菜・キャベツ・ブロッコリー

雨天が続くと、いろいろな病害の発生
が多くなっています。細菌性の病気には軟腐病・黒腐病が、
かび性病害にはべと病・菌核病などがあ
ります。株元より発生する病害が多い為、株元
や周辺の土表面に薬剤が行き渡るよう
な防除を心掛けましょう。【表3参考】

柑橘

早生みかんの収穫に続き、中生・普通み
かんの収穫時期となります。中晩柑類では
早生八朔の収穫が始まります。また、12月
中旬になるとはるみや普通八朔の収穫がス
タートします。

中晩柑類

●収穫前の薬剤防除

腐敗果防止のために、トップジンM水和剤
2000倍又はベンレート水和剤4000倍を収穫直前
に散布してください。また散布後、収穫終
了まで期間が空く場合や、降雨が続く場合
は再度収穫前防除を行い、高品質果実生産
に努めましょう。（表1防除例 参照）

●収穫作業

はるみは、果皮が弱く寒害霜害を受け
やすいため、年内に収穫を行いましょ。清見や不知火では、成熟期が2〜3月な
ので、袋掛けを行い樹上越冬させる方が高
品質になりますが、園地条件や天候により
凍害を受ける恐れのある場合は、それまで
に収穫し貯蔵しましょう。

表3. 白菜・キャベツ・ブロッコリー・青ネギ等(葉菜類)病害防除薬剤

病害虫名	薬剤名	倍 数	収穫前日数/回数			
			キャベツ	ハクサイ	ブロッコリー	青ネギ
黒腐病	キノンドーフロアブル	800~1000	14日/3回			
軟腐病		1000		30日/5回		
黒腐病	キノンドー水和剤40	800	14日/3回		14日/3回	
軟腐病		800		30日/5回		
軟腐病	スターナ水和剤	1000	7日/3回	7日/3回		
		2000			14日/2回	7日/3回
	バリダシン液剤5	800	7日/5回		前日/3回	
		500		3日/3回		前日/2回
菌核病・べと病・さび病	シグナムWDG	1500	7日/2回	7日/3回	7日/2回	7日/3回
菌核病	ロブラール水和剤	1000	7日/4回	14日/3回		14日/3回
	ファンタジスタ顆粒水和剤	3000	3日/3回	3日/3回	3日/3回	前日/3回
	ゲッター水和剤	1500	7日/2回	7日/2回		
	パレード20フロアブル	2000~4000	前日/3回	前日/3回	前日/3回	
黒斑病	パレード20フロアブル	2000				前日/3回
	ポリオキシシンAL水和剤	1000				14日/3回
さび病など	ジマンダイセン水和剤	600	30日/3回	30日/1回		14日/3回
	オンリーワンフロアブル	1000	前日/3回			14日/3回
コナガ・ヨトウムシ類など	プロフレアSC	2000	前日/3回	前日/3回	前日/3回	前日/3回
	ディアナSC	2500~5000	前日/2回	前日/2回	前日/2回	前日/2回
	グレース乳剤	2000	7日/2回	7日/2回	7日/2回	7日/2回
	トルネードエースDF	2000	7日/2回	7日/2回	14日/2回	14日/2回
アブラムシ類	モスピラン顆粒水溶液	2000	7日/5回	14日/3回	14日/3回	7日/3回
	トランスフォームフロアブル	2000	前日/3回	3日/3回	前日/3回	前日/3回
	トレボン乳剤	1000	3日/3回	7日/3回	前日/3回	21日/2回
	ウララDF	2000	前日/2回	前日/2回	前日/2回	前日/3回
	ハチハチ乳剤	1000	14日/2回	14日/2回	7日/2回	7日/2回

収穫の際は丁寧に取り扱い、収穫カゴからコンテナに入れ替える場合も、1果ずつ丁寧に入れ替えましょう。収穫時や家庭選別時に乱雑に扱うと痛みやコハシ症の発生が多くなります。収穫前及び袋掛け前には、表1を参考に防除を行いましょう。

● 予措貯蔵
収穫後は、風通しの良いところで2~3週間かけて予措(果実水分の3~4%減少する程度)を行ってから貯蔵を行います。貯蔵方法は、コンテナの内側を新聞紙で囲むようにし、果実を入れた後ポリ袋やもぎたてパック

クで湿度を保ち貯蔵を行います。中晩柑類の貯蔵方法は表2を参考にしてください。

● 防寒防鳥対策
寒波の襲来により寒害を受ける場合があります。袋掛けをする場合は1月中旬までが目安となりますが、寒害を受けやすい園地は早めに袋掛けをしておく必要があります。

また、近年はヒヨドリ・カラス等による被害が増加傾向です。鳥害対策も併せて実施しておきましょう。

表1. 防除例

品 目	時 期	対象病害虫	薬剤名	倍 数	収穫前使用日数/回数
中晩柑類	収穫直前(袋掛け前)	貯蔵病害(青かび病・緑かび病・輪腐病)	トップジンM水和剤	2000倍	前日/5回
			又はベンレート水和剤	4000倍	前日/2回

※へた落ち防止対策として、マテップEW3000倍(収穫予定日20~10日前/1回)を散布する。

表2. 中晩柑類の貯蔵方法

品 種	予 措	温度(℃)	湿度(%)	貯蔵資材
八 朔	4%	3~6	90~95	-
清 見	なし	5~6	85~95	新聞紙やポリ袋、もぎたてパック
不知火	4%	5~6	90~95	新聞紙やポリ袋、もぎたてパック
はるみ	2%	8	85~90	新聞紙

落葉果樹

落葉果樹全般において落葉し、休眠期(落葉してから翌春の発芽するまでの期間)に入ります。休眠期の作業は整枝・剪定が中心になります。12月に入り寒さが際立つてきますので、体調管理に気をつけて作業を行ってください。

● 整枝・剪定

枝の誘引や樹形を整えることを整枝といいますが、次のような目的のために枝を切ることを剪定といいます。

● 整枝・剪定の目的

- ・木の生育や結実特性を重視しながら、良果生産や管理作業に便利ないように樹形を整える。
- ・毎年安定した収量を得るため、枝葉の成長と結実の均衡を保つ。
- ・樹冠内全体に日射がいきわたり、防除薬剤がかかるように樹形を整える。
- ・病害虫におかされている枝を取り除いて、病害虫の発生を少なくする。
- 整枝法と樹形
果樹の整枝法は、立木仕立てと棚仕立て

に大別され、それぞれに各種の樹形が工夫されています。立木では、主幹形、変則主幹形、開心自然形が代表的で、紀の里管内では主に開心自然形(図1)が用いられています。

● 枝の種類と呼び名

● 主幹：地表から最上位の主枝の分岐部までをいう。最も太い骨組み。

● 主枝：主幹から発生する幹について太い骨組みとなる枝。

● 亜主枝：主枝から発生させる枝で、主枝について太い枝。

● 側枝：主枝や亜主枝から発生する枝で、果実をつける結果枝あるいは結果母枝を出す枝。

● 発育枝・結果枝・結果母枝：葉芽だけをつけた枝を発育枝とよび、発育枝のうち直立方向に伸びる成長が旺盛なものが徒長枝。結果枝は花芽や果実をつける枝で、ウメスモモモなどみられます。結果母枝は、花や果実をつける結果枝を出す枝で、カキブドウ・キウイフルーツなどにみられます。

● 剪定の基本と枝の伸び方
● 剪定の種類：枝を途中で切る「切り返し剪定」と、枝の発生部や分岐部からすべてを切り取る「間引き剪定」があります。

● 切り返し剪定は、①先端部を強く伸ばして骨格となる枝を育てる(強く切り返す)②結果枝や側枝の先端を弱らせない(先端を軽く切り返す、先刈りともよぶ)③先端が垂れた枝の勢力を回復したい(切り戻し、切り上げともよぶ)などの場合に行います。

● 間引き剪定は、①込み合った枝や重なりあつた枝を除く②残したい枝と競合する太さの枝を除く、などの場合に用いる。切り返し剪定に比べて残したい枝の勢いが落ち着き、結果枝や花芽がつきやすくなります。

落葉果樹の今月の防除例

品目	防除時期	対象病害虫	薬剤名	倍数	使用基準
梅	12月	越冬病害虫	石灰硫黄合剤	10倍	発芽前/ー
桃	12月~1月	カイガラムシ類 カイガラムシ類	ハートストオイル アブロード水和剤	25~50倍 1000倍	発芽前/ー 14日/3回
いちじく	12月 または 発芽前	越冬病害虫 ハダニ類 カイガラムシ類	(園芸剤)ネオエスアジ 石灰硫黄合剤	5000倍 10倍	ー/ー 発芽前/ー
梨	12月~2月 (休眠期)	ハダニ類 カイガラムシ類	ハートストオイル アブロード水和剤	50倍 1000倍	発芽前/ー 30日/2回



圖 1. 開心自然形

基本的には開心自然形に育てます。若木のうちは樹勢が旺盛なので、主枝・亜主枝のバランスを保ちながら樹を育成し、樹勢を落ち着かせます。品質のよい果実を生産するには、間引き剪定を主体に行います。主枝や亜主枝の先端は、強い枝が出るように切り返し剪定を行いましょ。樹が高くなりすぎた場合は誘引によって開帳させます。盛果期は、切り返し剪定を主体に行い、側枝の基部に結果枝を残すよう心がけ、盛果期の後半は樹勢が低下してくるので、強めに切り返し剪定を行うことにより若返りを図りましょ。

桃

基本的には棚仕立てが多く、それ以外は開心自然形です。

1年枝にも花芽が付きますが結実することは少なく、ふつう2年枝以上の花束短枝果枝に結実します。

李

梅は開心自然形を基本とします。落葉が毎年遅いので、葉がついた状態でも剪定を行います。葉がついている分、枝の重なりを中心に枝の配置に気を付けましょう。

梅

梅

柿

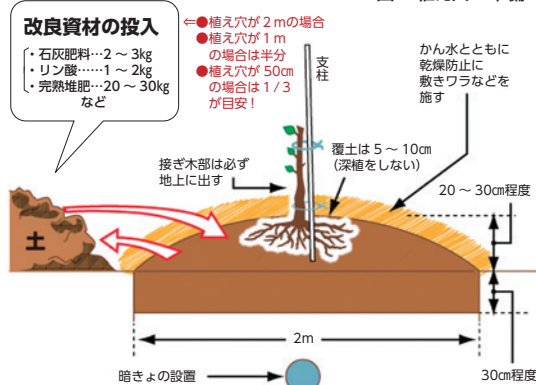
柿の苗木は、2〜3年後になってやつと伸

びだす場合が多く、基本的に開心自然形（図一）に仕立てます。枝の発生角度が狭くなりやすいため、植え付けた後早期から枝に支柱を添え、枝の角度を広くする誘引を行うか、カットバックするようにしましょう。柿の結果母枝は、先端から3分の1程度の芽にしか花芽がつかないため、基本的に苗木以外は切り返さないようにしましょう。側枝は数年すると良果生産が難しくなるので、3～4年すればもとから切り落として基部の萌芽が芽吹くようにしましょう。結果母枝・側枝を更新することにより、枝の若返りができ良果生産を継続できることとなります。

●落葉果樹苗木の植え付け方

落葉果樹は11月中旬から12月下旬に植え付ける秋植えと、3月上旬から4月上旬に植え付ける春植えがあります。温暖な地域では秋植えをします。

図2. 植え穴の準備



花

までに直径2m程度、深さ30cm程度の植え穴を掘り、石灰肥料・リン酸・完熟堆肥等と混和し、よく馴染ませておきます。粘土質土壌であれば、土壌条件向上のためにピートモスやパーライトを加用します。植え付けの間隔は品目や土壌条件によって変わってきますので、(図2)を参考にしてください。

苗木の切り返しの位置は、地際（接ぎ木部）からカキ・モモ・ウメ・スモモは50～70cm、キウイフルーツ・ブドウは20～40cm、いちじく（マスイドーフイン）文字仕立ては20～40cmの所で切り返します。

11月に入ると気温が低下し、また日照時間も短くなつてきます。早朝のかん水は根を傷めるため葉に陽光が当たつてから2時間後のかん水に心掛けましょう。

ハウスの保温について、冷気が入りやすいサイドの裾や出入り口などには、内張りの内側にもう一枚裾張りを設置するなど工夫し、日照が弱く短くなるので日中はこまめに内張りを開け、陽光を当てるようにしましょう。

スプレーマム

寒暖差の激しい時期となりましたので、温度管理に注意しましょう。また、ハウスを閉め込み過ぎると徒長しますので適度に換気を行い、日中は内張りをこまめに開け閉めしましょう。これからの時期はさび病の発生が心配されますので、表1を参考にいづれかで定期的に予防散布してください。

ストツク

灰色カビ病は葉先に発生しますが、土壌水分の過湿・過乾燥が大きく関与します。土壌水分を適湿に保ち、特に夕方には乾燥気味に管理しましょう。また、低温期にアブラムシが発生することがあります。

表3. 葉ぼたん対象病害虫防除例

◎展着剤ドライバー 1000～5000倍を加用

対象病害虫	薬剤名	倍 数
黒腐病	バリダシン液剤5	800倍
	ジマンダイセン水和剤	600~800倍
	カスミンボルドー	1000倍
	コサイド3000	2000倍
アブラムシ	モスピラン顆粒水溶剤	2000倍
	ウララDF	2000倍
	トランスフォームフロアブル	2000倍
コナガ	グレーシア乳剤	2000倍
	プロフレアSC	2000倍
	ディアナSC	2500倍
	アクセルフロアブル	1000倍
	チューンアップ顆粒水和剤	2000倍
菌核病	シグナムWDG	1500倍
	ファンタジスタ顆粒水和剤	2000倍
	バード20フロアブル	2000倍

表1. スプレーマムさび病 防除例

薬剤名	倍 数
チルト乳剤25	3000倍
アンビルフロアブル	1000倍
ポリオキシシンAL水溶剤	2500倍

※花卉藥害注意

表2. ストック対象病害虫防除例

対象病害虫	薬剤名	倍 数
灰色かび病	ゲッター水和剤	1000倍
	セイビアーフロアブル20	1000倍
	ファンタジスタ顆粒水和剤	2000倍
アブラムシ	モスピラン顆粒水溶剤	2000倍
	トランスフォームフロアブル	2000倍
	ウララ	2000倍
	モベントフロアブル	2000倍

表2を参考に、灰色かび病、アブラムシの
防除を行ってください。(各々どれかひとつ)
アイアン系は従来の品種と異なり、花穂
が間延びしにくいので出荷前まで適宜かん
水を行いましう。

葉ぼたん

11月中に基本的な葉かきを終え、先端
から25cm以下の葉がない様にします。
葉ぼたんは、黒腐病の抵抗性がないので
注意しましょう。また、防除は必ず午前中
に行い、乾きやすい展着剤ドライバー1000
500倍を加用しましょう。防除薬剤は表3を
参考にいずれかで散布してください。また、
圃場によってはバダニの発生も見られるので
注意して防除してください。

葉ぼたん

11月中に基本的な葉かきを終え、先端から25cm以下の葉がない様にします。

葉ぼたんは、黒腐病の抵抗性がないので注意しましょう。また、防除は必ず午前中に行い、乾きやすい展着剤ドライバー1000〜5000倍を加用しましょう。防除薬剤は表3を参考にいづれかで散布してください。また、圃場によってはハダニの発生も見られるので注意して防除してください。



金融

JAバンク・JAネットバンクを 装ったフィッシングメール、 サイトにご注意ください。

現在、JAバンク・JAネットバンクを装った不審なメールやSMSがかつてない規模で展開されていることが確認されています。

JAバンクにおいては、電子メールやJAネットバンクを経由した確認依頼は行っておりません。口座番号・暗証番号等を電子メール等でお尋ねすることはございませんので、回答しないようご注意ください。

JAネットバンクヘルプデスク
フリーダイヤル
0120-058-098

お問い合わせ時間

平日 9:00~21:00

土日祝日 9:00~17:00



営農

紀の川市産業まつり 農産物品評会開催!(紀の川市管内)

本年の紀の川市産業まつり(貴志川体育館など)は、11月23日(日)に開催されます。

主要産業である農業のPR…催しのひとつである「農産物品評会」への皆様ご自慢の農産物の出品をお願いします!

品目別の出品数などは、紀のわ11月号折込ちらしにてご確認ください。

ご自慢の農産物の出品をぜひ!



購買

もち米、漬物の素、年末商品について

冬野菜が出そろう季節になりました、エコープマーク品の「漬物の素」はいかがでしょう?

白菜や大根をご家庭でおいしく「漬物」を手作りできます。

また、お正月に向けての「もち米」の注文も受け付けています。詳しくは紀の里地域の各営農経済センター・事業所にお問い合わせください。あわせて、ご家庭用の餅つき用の機器もお気軽にお問い合わせください

いよいよ年末に向け、冬支度になります。ご家庭に必要なものがあれば、各購買窓口にお気軽にお問い合わせください。



販売

「年末・年始大売り出しイベント開催」のお知らせ

日頃より紀の里地域本部の各直売所をご利用いただき誠にありがとうございます。本年も皆様のご愛顧に感謝し、恒例の年末・年始大売り出しを開催します。

地元生産者が丹精込めて育てた新鮮な野菜・果物をはじめ、正月用のお餅、しめ縄、加工品など、年末年始に欠かせない品を豊富に取り揃えています。また、期間中は特別価格の商品やお楽しみ企画も予定しています。開催日については、12月の新聞折り込みチラシ、または店頭ポスターにて告知させていただきます。どうぞご家族おそろいでお越しいただき、新しい年を迎える準備にご活用ください。

